

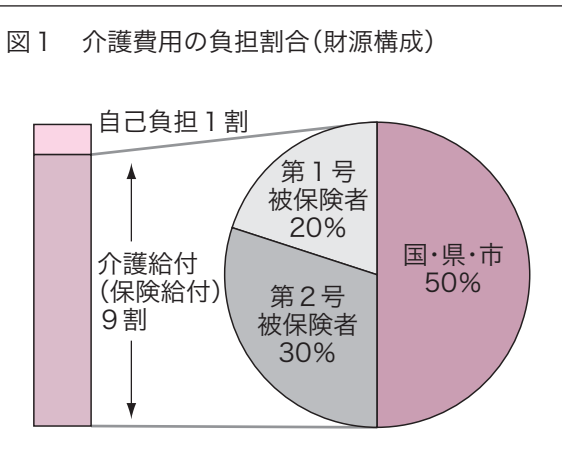
みんなので支える介護保険

市の介護に必要な費用(介護給付費)は、高齢化に伴う認定者の増加・重度化に伴って、年々増加しています。

ご自身の健康維持のためにも、介護予防の各教室に参加してみませんか。

介護費用はみなさんからのご負担で支えられています

介護保険制度では、介護に要した費用の1割を自己負担し、残りの9割(介護給付費)を国・県・市と、65歳以上の第1号被保険者および40歳以上64歳以下の第2号被保険者で



負担しています(図1)。

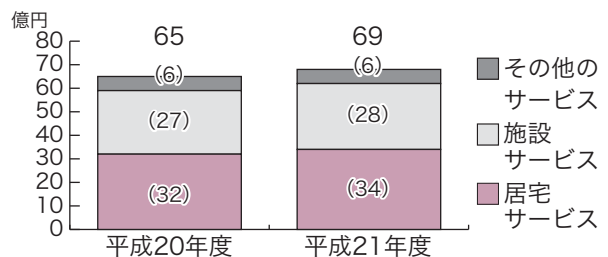
介護給付費が増加すると、それぞれが負担する費用が増加し、介護保険料も増加する仕組みになっています。

平成21年度の介護給付費は約70億円

平成21年度の介護給付費は、介護報酬のプラス3%改定と認定者(介護や支援が必要とされた方)の増加により、前年より7%増加しました(図2)。

高齢者に占める認定者の割合は、17.2%で、全国(16.8%)、岐阜県(15.1%)と比べて高く、また高齢者1人あたりの介護給付費(平成20年度も、高山市は約25万円)で、全国(22万円)、岐阜県(20万円)に比べて高くなっています(図3)。

図2 介護給付費の比較



	平成20年度	平成21年度
第1号被保険者	24,634人	24,987人
認定者	4,119人	4,308人
認定率	16.7%	17.2%

資料:各年度介護保険事業報告(3月)

図3 高齢者1人当たりの月額介護給付費の比較(平成20年度)

